



**FUJIBO**

*The Focus on Innovation*

第**198**期 中間報告書

2017年4月1日 ▶ 2017年9月30日

富士紡ホールディングス株式会社

証券コード：3104



代表取締役会長兼社長

**中野 光雄**

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社第198期上半期（2017年4月1日から2017年9月30日まで）の事業の概況等について、次のとおりご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融政策が継続され、企業収益は引き続き堅調に推移し、雇用情勢の改善、個人消費の持ち直しも見られ、緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、米国や欧州の政治動向、アジア・中東情勢等の地政学リスクなど海外経済の不確実性により、先行きは不透明な状況で推移しました。

このような経営環境の下、当フジボウグループは中期経営計画『加速17-20』において、計画期間の前半2年間を拡大に向けての「変革の加速」ステージと位置づけ、基本戦略である「収益性の高い研磨材・化学工業品事業の積極的な拡大」のための基盤創りと「繊維事業の構造改革による反転攻勢」に取り組んでおります。

この結果、当中間期の連結売上高は前年同期比3,927百万円（18.3%）減収の17,589百万円、営業利益は2,677百万円（57.7%）減益の1,963百万円、経常利益は2,588百万円（54.3%）減益の2,180百万円となりました。これに特別損益を加減し、法人税等を差し引いた結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比1,619百万円（52.9%）減益の1,441百万円となりました。

なお、中間配当につきましては、企業価値拡大に向けた設備投資等の実施を鑑み、見送りとさせていただきます。期末配当につきましては、1株当たり90円を予定しております。

当社は、2017年度から2020年度までを計画期間とする中期経営計画『加速17-20』を策定し、2017年4月よりこれを実行しております。本中期経営計画では、計画期間の前半2年を更なる拡大のための基盤創りを加速する「変革の加速」ステージ、後半2年は企業価値拡大を加速する「成長の加速」ステージと位置づけ、計画最終年度の2020年度連結ベースの経営指標として、営業利益100億円、ROE15%以上を目標としております。この目標の達成に向けて、利益重視に立脚した重点3事業の加速を基本方針とし、①成長性の高い研磨材・化学工業品事業の積極的な拡大、②繊維事業の構造改革による収益力向上と反転攻勢および③成長加速に向けてのホールディングス機能の強化の3つの基本戦略をスピード感を持って実行し、当社グループの企業価値拡大を「加速」させてまいります。

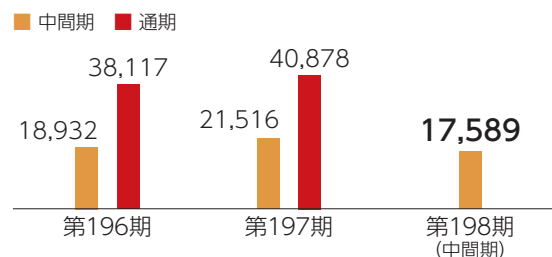
主力事業として成長を続ける研磨材事業では、新しい研磨工程・用途・領域への積極的な展開の基盤創りのため、台湾新工場の建設を進めるとともに、事業拡大に向けた専門マーケティング部隊を創設しました。売上高100億円規模に成長しました化学工業品事業では、営業力強化による新規受託商材の獲得で、生産設備のフル稼働体制の構築を進めています。繊維事業では、「売れる商品を売り切る」在庫管理体制で、レディス分野やネット販売など新規商材・新規チャネルへの拡大加速で、販売面での反転攻勢を進めています。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き変わらぬご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2017年12月

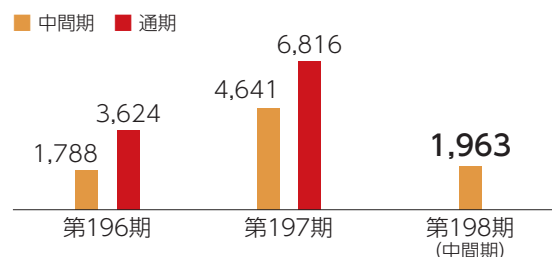
## 売上高

(単位：百万円)



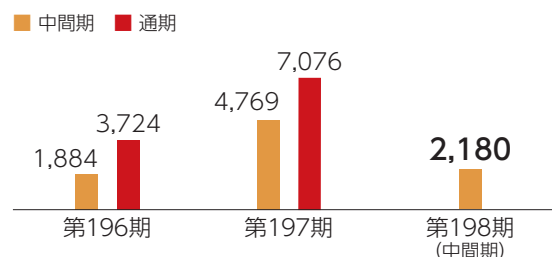
## 営業利益

(単位：百万円)



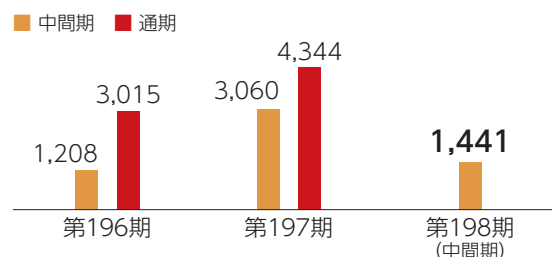
## 経常利益

(単位：百万円)

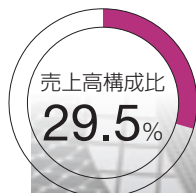


## 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



## 事業の概況



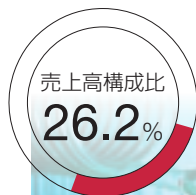
### 研磨材事業



主力の超精密加工用研磨材は、シリコンウエハー用途および半導体デバイス用途（CMP）はメモリ・通信用途等を中心とした好調な半導体需要を受け順調に拡大しております。ハードディスク用途もデータセンター向けサーバー用需要が高く、堅調に推移しました。しかしながら、液晶ガラス用途はパネル在庫調整が続き、ユーザーのモデルチェンジに伴う需要期で前年大幅増となった一般工業用途は反動減となりました。



この結果、売上高は前年同期比3,382百万円減収の5,184百万円、営業利益は2,938百万円減益の1,091百万円となりました。



### 化学工業品事業



機能化学品および医薬中間体などの受託製造は、機能性材料を中心に新規受注活動を強化し安定生産を継続することができたものの、海外からの原料の入荷遅れおよび一部ユーザーからの受注減少により、フル稼働には至りませんでした。



この結果、売上高は前年同期比552百万円減収の4,610百万円、営業利益は159百万円減益の281百万円となりました。



## 繊維事業

繊維事業は、インターネットなど新規販売チャネルや「B.V.D.」ブランドのレディース商品の販売が拡大し、OEM製品・共同開発商品は堅調に推移しました。また、百貨店向け商品を中心にこれまで実施した構造改革が、物流費用の低減など総合的なコストダウンに繋がり、採算性が大幅に改善しました。

この結果、売上高は前年同期比145百万円増収の6,155百万円、営業利益は428百万円増益の509百万円となりました。



## その他の事業

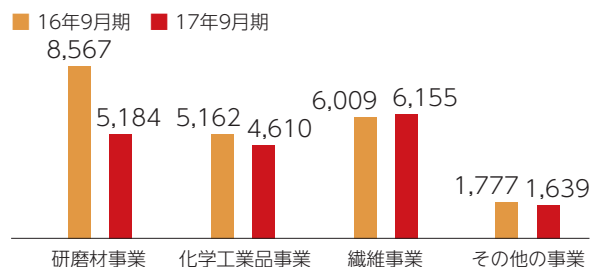
アジアから中南米への輸出をメインとする貿易部門では、天井扇など機械類の輸出は回復傾向となりましたが、中米カリブ海地域の経済停滞で車両・タイヤなど自動車関連は減少しました。化成品部門は、デジタルカメラ用部品および医療機器用部品が堅調に推移し、自動車用部品も採算が改善しました。

この結果、売上高は前年同期比138百万円減収の1,639百万円、営業利益は6百万円減益の80百万円となりました。



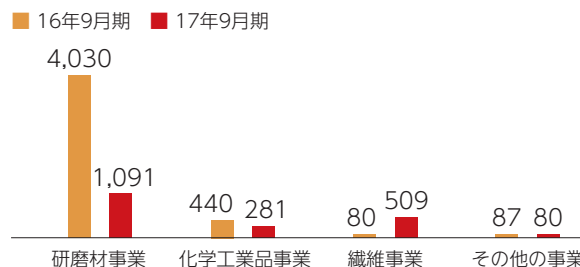
### 売上高

(単位：百万円)



### 営業利益

(単位：百万円)



# 中間連結財務諸表

## 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前 期	科 目	当中間期	前 期
	2017年9月30日 現 在	2017年3月31日 現 在		2017年9月30日 現 在	2017年3月31日 現 在
<b>資産の部</b>	<b>48,240</b>	<b>50,044</b>	<b>負債の部</b>	<b>17,433</b>	<b>19,895</b>
<b>流動資産</b>	<b>20,922</b>	<b>23,355</b>	<b>流動負債</b>	<b>10,055</b>	<b>12,392</b>
現金及び預金	6,202	8,734	支払手形及び買掛金	3,970	4,457
受取手形及び売掛金	8,456	8,860	電子記録債務	395	414
商品及び製品	2,274	2,243	短期借入金	1,654	2,301
仕掛品	2,084	1,816	未払法人税等	352	1,163
原材料及び貯蔵品	1,084	975	賞与引当金	671	674
その他	839	746	返品調整引当金	54	89
貸倒引当金	△18	△20	資産除去債務	7	13
			その他	2,949	3,277
<b>固定資産</b>	<b>27,317</b>	<b>26,688</b>	<b>固定負債</b>	<b>7,377</b>	<b>7,502</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>24,042</b>	<b>23,598</b>	長期借入金	211	316
建物及び構築物	6,073	5,671	退職給付に係る負債	4,836	4,900
機械装置及び運搬具	5,286	5,323	資産除去債務	238	237
土地	11,981	11,985	その他	2,091	2,049
その他	701	618			
<b>無形固定資産</b>	<b>379</b>	<b>403</b>	<b>純資産の部</b>	<b>30,806</b>	<b>30,149</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>2,895</b>	<b>2,686</b>	<b>株主資本</b>	<b>28,441</b>	<b>28,028</b>
その他	2,896	2,687	資本金	6,673	6,673
貸倒引当金	△1	△1	資本剰余金	2,174	2,174
<b>資産合計</b>	<b>48,240</b>	<b>50,044</b>	利益剰余金	20,163	19,750
			自己株式	△570	△569
			<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>2,365</b>	<b>2,120</b>
			その他有価証券評価差額金	904	739
			繰延ヘッジ損益	0	△7
			土地再評価差額金	1,272	1,274
			為替換算調整勘定	225	176
			退職給付に係る調整累計額	△38	△62
			<b>非支配株主持分</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>48,240</b>	<b>50,044</b>

## 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	2017年4月1日～ 2017年9月30日	2016年4月1日～ 2016年9月30日
売上高	17,589	21,516
売上原価	11,400	12,714
売上総利益	6,188	8,802
販売費及び一般管理費	4,225	4,161
営業利益	1,963	4,641
営業外収益	296	214
受取利息	2	2
受取配当金	26	27
固定資産賃貸料	116	115
補助金収入	135	30
その他	14	39
営業外費用	78	86
支払利息	6	12
固定資産賃貸費用	32	33
コミットメントフィー	17	16
その他	22	24
経常利益	2,180	4,769
特別利益	4	0
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	4	－
特別損失	103	355
固定資産処分損	50	74
減損損失	9	264
関係会社清算損	41	－
その他	1	15
税金等調整前四半期純利益	2,082	4,414
法人税、住民税及び事業税	569	1,475
法人税等調整額	72	△120
四半期純利益	1,441	3,060
非支配株主に帰属する 四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,441	3,060

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期	前中間期
	2017年4月1日～ 2017年9月30日	2016年4月1日～ 2016年9月30日
営業活動によるキャッシュ・ フロー	884	2,470
投資活動によるキャッシュ・ フロー	△1,606	△392
財務活動によるキャッシュ・ フロー	△1,835	△1,655
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△3	△62
現金及び現金同等物の 増減額（減少：△）	△2,561	359
現金及び現金同等物の 期首残高	8,697	4,099
現金及び現金同等物の 四半期末残高	6,135	4,458



# トピックス

## Topics 1

### 研磨材事業

## 研磨材事業の海外工場を台湾に

研磨材事業の海外生産拠点として、2017年3月に「台湾富士紡精密材料股份有限公司」を設立。同社は、研磨材事業をけん引するフジボウ愛媛(株)の100%子会社です。2018年夏からの稼働をめざし、台湾の台南サイエンスパークに新工場を建設中です。

台湾には世界最先端のモノづくり企業が数多く集まっており、スマートフォン、パソコン、自動車部品などに加え、IoTやAI向け需要も本格化しつつあり、半導体デバイスの質・量両



面からの更なる拡大が期待されています。

ユーザー企業の多くが生産拠点と位置づける台湾において、半導体デバイス用途の研磨材の製品供給をすみやかに行うことで、お客様とのパイプは一層太いものになります。半導体デバイスは、電化製品だけでなく、交通、通信など社会インフラの進展にも欠かせません。今後は医療、環境、エネルギーなど新規需要の増加も見込まれています。



## Topics 2

### 化学工業品事業

## 信頼される受託製造技術でユーザーの開発をアシスト

ファインケミカル製品の受託製造で他を寄せ付けない強みを発揮し続けているのが柳井化学工業(株)です。

同社が製造する有機化学合成品は、中間原料のため、皆様の目に直接触れる機会はありませんが、医薬品、農薬、電子材料など幅広い分野に用いられています。

例えば、長寿化、健康志向に応える医薬中間体などのヘルスケア分野や、環境にやさしい新世代農薬原体、電子材料分野では高



速通信や低炭素社会に向けた革新的製品に用いられ、快適で持続可能な社会の実現に貢献しています。

今後も蓄積した生産ノウハウを活かして、「品質」「安全」「環境」に最大限の配慮をしながら、お客様である大手化学メーカーの開発ニーズに迅速に対応していきます。





## Topics 3

## 繊維事業

## 「涼ブラ」ただいま快走中

B.V.D.Ladiesの主力商品である「涼ブラ」が累計120万枚を突破しました。

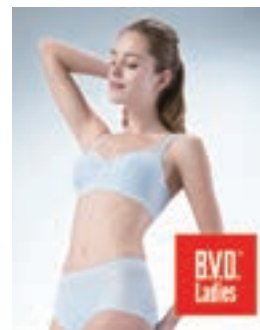
本年3月からは20周年を迎えた B.V.D.Ladiesのアンバーサリーキャンペーンを実施するとともに、4月からは春夏の主力商品である「涼ブラ」の認知度拡大をめざしてJR東日本や東京メトロの女性専用車両で中吊りなどの広告を展開しました。

また、SNS用の「涼ブラ」動画を制作して配信した結果、



B.V.D.ホームページへのアクセスが急増し、自社オンラインショップをはじめとするネット販売で前年比2倍を超える成果となりました。

本年12月からは梅春カラーの展開をスタート。最盛期の夏シーズンには要望の多いブラックを新色に追加し拡販に努めます。「軽さ」「涼しさ」を演出した2018年春夏物展示会は、来場者の評判も良く、「涼ブラ」の今後に手ごたえを感じています。



## Topics 4

## 化成事業

## 精密な二色成形技術で医療用途を開拓

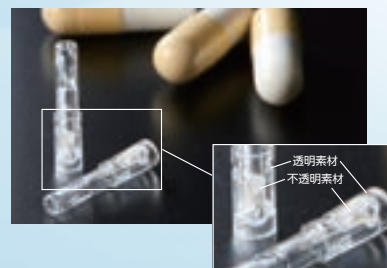
化成事業は、高級一眼レフデジタルカメラや医療機器など高い品質が求められるプラスチック成形技術に磨きをかけてきました。中でも異なる材料同士を組み合わせ成形する二色成形は、別々に成形してから接着や組み立てを行っていた部品を一体成形するため、品質安定やコスト削減に効果的です。

複雑、精細な形状の二色成形は非常に高い技術が求められ、これまで技術確立に努めてきました。この技術



を活かし、新たな材料の組み合わせによる高機能製品の提案で、カメラ用途だけではなく医療用途での需要を拡大しています。

フジボウグループでは、研磨材事業、化学工業品事業、繊維事業に続く新たな柱の一つとして「化成事業」を位置づけ、お客様の要請に応えるため意欲的な設備投資を行い、生産能力の増強に努めます。



## 会社概要

商号	富士紡ホールディングス株式会社
本社所在地	〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町一丁目18番12号
大阪支社	〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町一丁目8番12号
設立	1896年3月24日
資本金	66億7383万2000円
従業員数	単体105名 連結1,391名
主要な事業内容	1. 研磨材・不織布・合皮の製造、加工、販売 2. 各種化学工業品の製造、加工、販売 3. 各種繊維製品の製造、加工、販売

## 連結対象会社

### ■ 研磨材事業

フジボウ愛媛 (株)  
台湾富士紡精密材料股份有限公司  
フジケミ (株)

### ■ 化学工業品事業

柳井化学工業 (株)

### ■ その他の事業

フジボウ愛媛 (株)  
フジボウテキスタイル (株)  
三泰貿易 (株)  
フジケミ (株)

### ■ 繊維事業

フジボウ愛媛 (株)  
(株) フジボウアパレル  
フジボウトレーディング (株)  
(株) フジボウソーイング  
(株) サドソーイング  
富士紡 (常州) 服装有限公司  
ジンタナフジボウコーポレーション  
フジボウテキスタイル (株)  
タイフジボウテキスタイル (株)  
アングル (株)  
三泰貿易 (株)  
富士紡 (上海) 商貿有限公司

## 役員

代表取締役会長兼社長 社長執行役員	中野光雄
代表取締役 副社長執行役員	青木隆夫
代表取締役 専務執行役員	吉田和司
取締役 上席執行役員	木原勝志
取締役 上席執行役員	藤岡敏文
取締役	中野雅男
取締役	茅田泰三
取締役	秀島信也
常勤監査役	松尾弘秋
常勤監査役	大西秀昭
監査役	飯田直樹
監査役	百瀬一夫

(注) 1. 取締役の中野雅男、茅田泰三、秀島信也の3氏は社外取締役であります。  
2. 監査役の大西秀昭、飯田直樹、百瀬一夫の3氏は社外監査役であります。

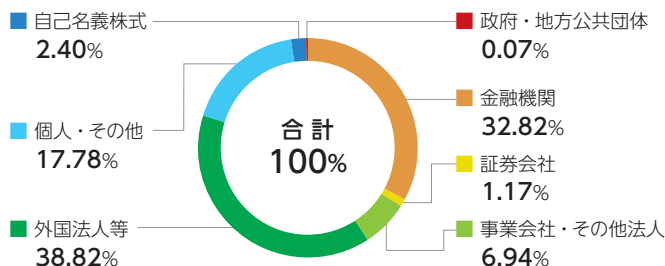
## 執行役員

常務執行役員	小林敏彦
常務執行役員	大久保制宇
上席執行役員	北口保
執行役員	鈴木眞
執行役員	野口篤謙
執行役員	岡田祐明
執行役員	井上雅偉
執行役員	豊岡保雄

## 株式の状況

発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式の総数	11,720,000株
株主数	6,034名

## 所有者別分布状況

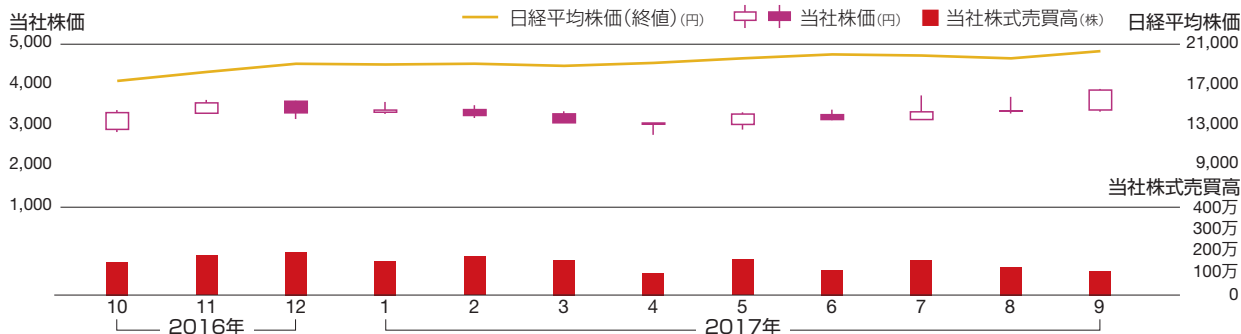


## 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	572,800	5.00
明治安田生命保険相互会社	533,500	4.66
株式会社三菱東京UFJ銀行	500,000	4.37
BBH(LUX) FOR FIDELITY FUNDS PACIFIC FUND	440,700	3.85
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	393,500	3.43
三菱UFJ信託銀行株式会社	322,500	2.81
RE FUND 107-CLIENT AC	300,000	2.62
フジボウ共栄会	283,000	2.47
GOVERNMENT OF NORWAY	276,800	2.41
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	237,450	2.07

(注) 1. 当社は自己株式を280,943株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

## 当社株価・売買高および日経平均株価の推移 (東京証券取引所)



## 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1  
電話 0120-232-711 (通話料無料)  
郵送先 〒137-8081  
新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告の方法 電子公告により行う  
公告掲載URL <http://www.fujibo.co.jp/>  
(ただし、やむを得ない事由によって電子公告  
によることができない場合は、東京都において  
発行する日本経済新聞に公告いたします。)

### (ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 富士紡ホールディングス株式会社

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-18-12  
電話 03-3665-7777(代)



<http://www.fujibo.co.jp/>

